

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2013. 6
No.238

平成25年度 全国安全週間

平成25年7月1日から7月7日までです。また、安全週間の実効を上げるために、6月1日から6月30日までを準備期間と定めています。

スローガン

『高めよう、一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害』

この厚生労働省が主催の全国安全週間は昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図るこ

と」を目的に実施されています。今年は80回目の年です。

イナテックも安全大会を全社員参加で実行致します。もう一度大会の目的を理解し『安心・安全な職場』を皆でつくり上げましょう。

コミュニケーションシリーズ(Ⅱ)

表示だけでは教育でない

イナテックの現場(事務所でも同じ)では、色々な表示・掲示がいっぱいあります。

ex. 「ここに手袋を置かないください。」

「このドアは締めて下さい」

「ワンポイントレックスン書」 etc

表示するのはいいのですが、『表示』して終わり、対策した事と勘違いしているんです。だから表示があふれ返っていると思うんです。

表示はあくまでも『教育の手段』であって、本人に伝え、部下に伝え、そして行動してもらって初めて対策になるということです。ひ

どい表示になると、誰が書いたか出所不明のものもあります。

また出しっぱなしの表示(数年・数十年前)も見受けられます。あくまでも表示することが目的でなくて、教育し実行・行動になるまで教え続けることしかないんです。

手を抜かない、教育に手を抜かない、ということ。そして教育履歴を残す、これが大切なことです。

コミュニケーションシリーズ(Ⅲ)

見て見ぬふりをする！

「知りません」「気が付きませんでした」何十年もやっていてそれはないでしょう、ということなんです。

私がイナテック企業理念の中で提唱させていた『仲良く喧嘩する』を実行して、隣の社員仲間に教えてあげる、そっと注意してあげる、そんな助け合いが必要なんです。

お陰様でPM山田先生の受指導の成果で少しずつ皆でやる習慣がついて参りましたが、もっと仲間に気を遣ってあげるよう心掛けて下さい。

MBTIの近藤先生のイナテックに対するコメントです。

「今回の研修を通じて、イナテックの組織としての可能性はとても大きいものがあると感じました。どのタイプにとってもキャリア形成の上で20代〜30代前半はとても重要な時期です。リーダーあるいはリーダー候補者にとって、この時期に自分にあったリーダーシップを身に付けられたら、組織(イナテック)にとって大きな力になります。組織全体でチームワークを発揮出来れば、組織力が上がりやすい、助け合う企業風土を形成することが重要だと考えます。」

「仲良く喧嘩する『みんなで助け合う』全員参加のTPM』は近藤先生の言われている「組織全体でチームワークを発揮する」手段として有効だと考えております。

もちろんリーダーシップ教育・階層別教育は充実させていきますので、期待していただきます。

“楽しさは向こうからやってくる”

『致知』の記事で「知好楽」について

「知らないより、知っている方がいいから勉強するって大事なんです。知っているよりも好きな人の方が勝つ。好きな人よりも楽しくやっているとの方がなお勝てる。」 中里良一社長

今どき勘違いしている人が多くて、「楽しくなければ意味がない」と、「楽しい」「楽しい」の大会唱なんです。けれども中里社長ははっきり言うてみます。

「ただ、みんな楽しいという字を“らく”って読んじゃうんです。楽しいってことは、手を抜く」とだと思ってしまうている。だからダメなんだ。片手間で作っている仕事なんて楽しいわけがない。楽しさは向こうからやってくる。仕事の真の楽しみというのは、一所懸命努力する中で創り上げていくものなんです。」

まさしくこの努力なくして楽しいなんてありえないことだと言うことを学ばせていただきました。ありがとうございます。